



小田原市立白山中学校

正義を守り自主に立つ

白山だより

NO 2 発行日

令和8年6月 8日

発行者 宮坂 宗篤

関わり合い、認め合い、協力しあう ～運動会特集～

6月2日（火）、台風が間近に迫る中、運動会を開催することができました。

当日は、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来場いただき、生徒たちの頑張りに温かい声援をかけてくださり、本当にありがとうございました。

今年の運動会は『Go Beyond ～限界のその先へ～』をテーマに掲げ、生徒一人ひとりが、その達成をめざして、前日まで、種目の練習を積み重ねると共に、係ごとに周到な準備を心掛け、それぞれの役割をしっかりと果たして、運動会を盛り上げてくれました。

当日は、3年生のリーダーシップに支えられ、どの種目もスムーズに進行することができました。そして何より縦割りのブロックやクラスで、仲間と関わりあい、全力で競技に向かう姿が見られ、大きな感動を与えてくれました。



【自主に立ち、支える】実行委員を中心に、どの係も準備や片付け等積極的に行っていました。準備を進める生徒たちからは、やらされているのではなく、良い運動会にするためにしっかり準備しよう、必要なものをそろえよう、という自主的な気持ち、想いが伝わってきました。片付けの際にも3年生が「任せてください」と私から奪うように机を運んでくれました。



【つなぐ、つながる】競技の中には、クラスの全員でバトンをつなぐリレーや、順番になわを飛ぶ8の字なわ跳び、大人数でひとつのなわを引き合う綱引き、他にも心をひとつにして「つながる」種目がたくさんあります。ドキドキしたり、助けたり助けられたりしながら、生徒の心が動く瞬間をたくさん見る事ができました。



【仲間を思いやるということ】

学校では、集団の中で経験できること、仲間と関わりながら感じるができること、がたくさんあります。また、それこそが学校の持つ大きな意義でもありと考えています。今回の運動会でも学年を超えたブロックのつながり、クラスの団結、そのようなことを沢山の生徒が感じながら、助け合い、思いやる場面をたくさん見る事ができました。学校行事の中で、このような経験をしてくれることは何より尊いものだと思います。



今年も3年生が1・2年生を引っ張り、模範となる取組を見せてくれたことは、とても頼もしかったです。1・2年生はその姿を目に焼き付け、来年の運動会で、さらに成長した姿を見せてくれることと思います。行事を通して白山中の良さが引き継がれていくことに喜びを感じています。

運動会での様々な経験を通して、確実に成長した生徒たちが、これから新たな目標に向かって頑張ることを大いに期待したいと思っています。

《地域清掃「クリーンさかわ」に参加しました》



5月10日(日)には、今年も地域清掃「クリーンさかわ」に参加させていただきました。地域の皆さんと清掃しながら、いろいろな声をかけていただくことに喜んでる生徒も多く、女子バレーボール部、軟式野球部のメンバーが中心でしたが、非常に充実した時間となっております。自治会役員様をはじめ地域の皆様、ありがとうございました。今後も、保護者や地域の皆様と関わりながら、生徒の心が動くような体験活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

《体育館にエアコン（冷房）が整備されました》

この夏までに、小田原市立小学校2校、中学校2校に空調設備の先行導入がされ、本校の体育館にもエアコンが整備されました。生徒の諸活動への暑さ対策はもちろん広域避難所となる体育館にとって、安心・安全につながる整備をしていただきました。

